



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表)

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

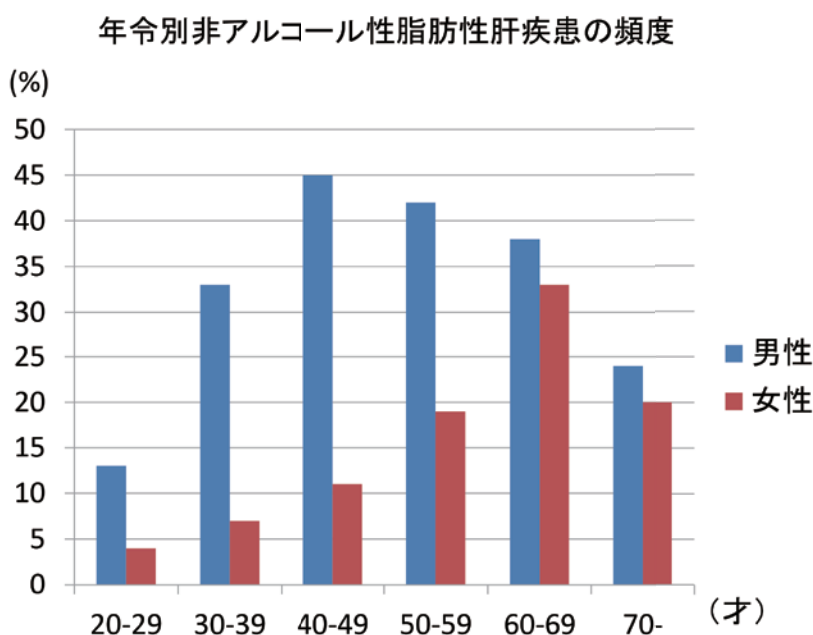
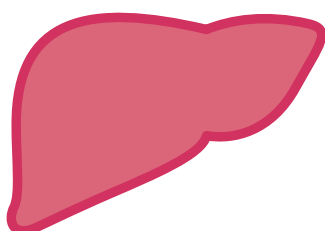
消化器内科 脂肪肝に注意

脂肪肝とは、肝臓の細胞に中性脂肪が沈着し肝臓の障害を起す病気です。



原因としてはアルコールの過剰摂取、肥満や糖尿病、極度の低栄養、薬剤性等があります。アルコール以外が原因であるものを非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) と言い、最近注目されています。原因の多くは先ほど述べましたように肥満や糖尿病です。わが国における肥満の頻度は20年前と比べると男性は1.5倍に増加し、女性は横ばいです。

また他の生活習慣病を合併することもしばしばあります。図は年齢別の非アルコール性脂肪性肝疾患の頻度です。男性は40才代で最も多く半数近くが該当します。50才から69才でも40%近くが該当します。一方女性は若年より頻度が徐々に増加し60才代が最も多く約30%です。

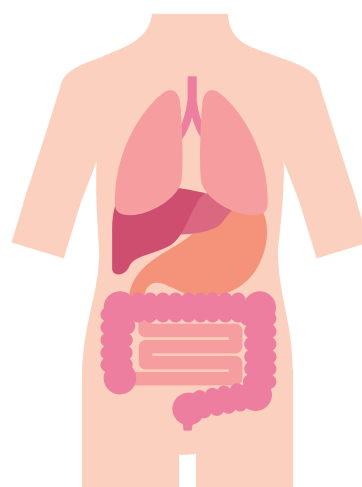


(NASH・NAFLDの診療ガイド 日本肝臓学会編より)

消化器内科 脂肪肝に注意

非アルコール性脂肪性肝疾患の中に非アルコール性脂肪肝炎(NASH)といわれる病気があります。NASHは徐々に進行し、肝硬変、肝臓がんへと進行することがあります。一般に「NASHは5～10年で5～20%の方が肝硬変へと進展する」と言われています。診断には肝生検といって肝臓に針を刺して肝臓の細胞を採取することが必要です。しかしこの検査は患者さんへの負担が大きいため、いくつかの血液検査を組み合わせるとNASHの可能性を推測することもできます。必要に応じて肝生検を勧めています。

非アルコール性脂肪性肝疾患の薬物治療に決まったものはまだありません。現在さまざまな薬剤が治験中ですが、まず標準体重に減量するため食事療法や運動療法が必要になります。さらに肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧などのメタボリック症候群を合併することが多いため、その治療を行うことが勧められています。



NASHを原因とする肝臓がんは増加しています。C型肝炎が効果の高い薬剤の登場で減少しているため、今後は肝臓がんの大きな原因になると言われています。検診で指摘される非アルコール性脂肪性肝疾患は男性で約40%、女性で約20%と多くの方が該当します。注意が必要なのはその一部の方ですが脂肪肝を指摘されたら病院で検査を受けてください。そしてNASHが疑われる方は定期的に通院し、腹部超音波等の肝臓の検査を受けるようにして下さい。



(消化器内科 主任部長 加藤有史)